

# えびあん

立川と語ろう 立川に生きよう

July 2013

Écoutez Bien Vol.31 No.344

7

立川に一番近い「世界遺産」…

表紙の人／髪職人三代（柴崎町）





# 多摩川

多くの命を生み出し、また奪うこともある多摩川。  
四季折々、表情を変えながら人々の暮らしに寄り添う。  
多摩川を最終回とし、この連載を締めくくる。

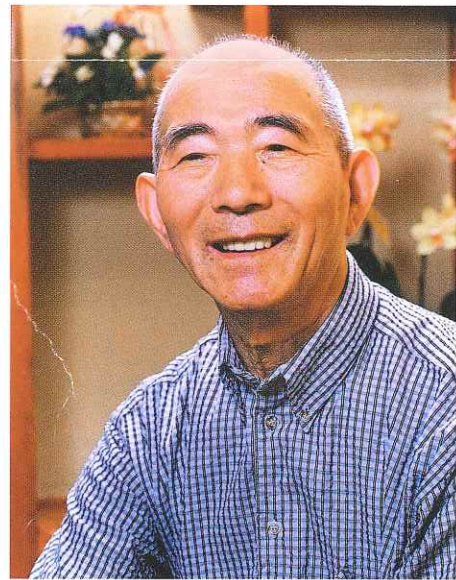
2003年6月、三田鶴吉さんに多摩川についてお話をうかがった。三田さんは常々「多摩川は教科書だ」とおっしゃっているが、この日もその言葉から始まった。青梅生まれの三田さんは幼い頃から多摩川に親しんできた。かつての日、水に入ると魚が足の裏に潜り込んできた。その感触が忘れられない。今のようにガラスの欠片が川底にあるわけなし、多摩川は本当にいい遊び場だった。ハヤやクチボソ(通称バカッパヤ)など鯉科の魚は桜の頃が旬。鮭のように川と海を回遊する鮎は、実は紅葉の頃が美味しいのだそうだ。遡上する若い鮎のイメージが強いが、産卵のために川を下る「落ち鮎」こそが旬なのだ。「お彼岸の終わった頃、こんなに獲れていいんだろうかというほど鮎を獲ったこと

がありましたよ」と聞くと、本当にうらやましい。「郡来がつく」という言い方をするそうだが、古銀色に光る魚の大群が目に見えるようだ。三田さんはなまずの話もしてくれた。なまずほど良質のタンパク源で、食べて美味しくたくさん獲れた魚はないそうで、「なまずは蒲焼きがうまいんです」と聞けば、ますますうらやましい。三田さんが立川へ来てからの話で、日野橋下や田圃でも獲れたそうだ。多摩川流域の市町村には「川魚屋」が多くあったが、昭和25年頃から川が汚れ多摩川の魚は食べられなくなってしまった。

多摩川の源流をたどると、奥秩父連峰笠取山に行きつく。明治11年、ここが多摩川源頭と定められ、ここの水干から一ノ瀬川となり、もう1つの源流である小菅川と合流し奥多摩湖で多摩川が生まれる。東京都水道局のHPでも源流の地をマップ入りで紹介しているが、トレッキング仲間にはよく知られた場所だ。途中多くの支流を飲み込んで、多摩川は海へ向う。多摩川には地層や化石が教えてくれる歴史があり、水量の多い川に対する畏怖が言葉にしないルールや伝説を生んで、人々の命や生活を守った。世界の川が融和する海に、立川を通して向かう多摩川。大切にしたい。



昭和13年夏 後ろに見えるのは日野橋



三田鶴吉さん(2003年6月撮影)



笠取山の水干





# 選ばれる街『立川』へ

## ルミネの屋上で あそんで まなんで 街とつながる

ルミネ立川屋上庭園で行われる「あおぞらガーデン」を通じて、  
実現を目指す

地域と商業施設の新しい関係とは?

—「あおぞらガーデン」は昨年からはじめた取り組みだそうですね。

**酒井** 当初はこれまでにない取り組みだったので、お客さんに来ていただけるかという不安がありました。でも昨年は予想を超える来場者様にお越しいただくことができました。今年は、目標だった来場者数千人を2日間ともに超えると予想しています。

—この屋上空間に千人はすごいんですね。昨年とはどこが違うのでしょうか?

**酒井** 昨年は6月から10月まで約5ヶ月間、ルミネ立川店の30周年を記念し、「ルミネの屋上で街とつながる」をテーマにしたイベントを行いました。今年は春、夏、秋の開催でそれぞれ異なるテーマを設け、イベントと連動したマガジンの発行を行っています。

—テーマが変われば出店者もターゲットも変わるのですか?

**酒井** お客様のターゲットは変わりません。テーマが変わっても、3回に共通するコンセプトは変わりませんので。お客様には、季節に合わせたテーマそれぞれの楽しみ方をして欲しいと思っています。

—こうして屋上に来ると、来場者の皆さんには共通した特徴があるように思われますね。

**酒井** そうですね。20代後半から30代にかけての子育て世代が中心です。

—母子だけではなく、お父さんも一緒にいるのが特徴ではないかと思えます。

**酒井** そうかもしれませんね。

—家族を大切に、小さな幸せをとて大事に思っている人たちが、ということなん

でしょうか。

**酒井** それ以外に特徴的なのは、情報感度が高い方々ということではないかと思えます。これまでにない新しい取り組みに対して、とても情報感度の高い人たちにお越しいただいているという実感があります。我々としても、特に来場者の方に新しい発見がある出店者のセレクトを心がけています。結果的に情報感度の高い方というのは皆さん、お母さんになってもお父さんになってもやっぱり「オシャレ」をしたい、という気持ちの強い方々なのではないかと思えます。ルミネ立川さんとの相性もすごく良いのではないのでしょうか。

—出店者は結果的にいかがでしたか?

**酒井** 皆さん予想以上に取り組みのコンセプトと相性がよかったです。出店者同士の交流もあって、いいチームなのではと感じます。ルミネ立川店さんのテナントの中では、オリオン書房さんにも協力いただいています。あおぞらの下大人も子どもも楽しめる絵本というコンセプトでブックセレクトしていただいています。我々としても「あおぞらガーデン」を単なるルミネ立川店の販促活動の延長と見られてしまうイベントにはしたくなかった。コンセプトをご理解いただけそうなお店に我々からご協力をお願いするという形で関わっていただいています。

—お客様の屋上滞在時間はどのくらいですか?

**酒井** 中には数時間いらっしゃる方も少なくありません。マルシェでお買い物も楽しむことができ、体験型ワークショップもできる。また館内でお買物の合間にコー

ヒーを楽しむこともできる。でもコンテンツがてんこ盛りかというそうではない。コンテンツはすべて縁の方に寄せています。会場となる屋上の主役は、ハンモックであったりレジャーシートであったり。各々がそれぞれの時間を楽しむ風景そのものがメインのコンテンツだと考えています。商業施設にこうした空間があることが非常に重要な場所ではないかと思えます。

—昔はデパートの屋上ってなんか特別な場所でしたよね。

**酒井** 僕にとっても特別な場所でした。デパートは「ハレの日」というイメージがあって、中でもデパートの屋上は記憶に残っている風景です。そんなデパートへの憧れをすごく意識していて、現代版の新しいエンターテインメント空間にしたいと思いました。ただ、時代も変わってエンターテインメントの意味が変わりつつあります。お父さんはコーヒーを飲んで読書したり、子どもはシャボン玉のそばを走り回っていたり、お母さんはマルシェでお買い物を楽しむ。そんな日常的にありそうでない体験という意味では、非日常体験なのかもしれません。

—シャボン玉は重要なアイテムでしょうか?

**酒井** シャボン玉によって空間に立体感が出ると思います。視覚的なBGMと捉えることもできるかもしれません。他のコンテンツを邪魔しない程度に空間のアクセントになっています。

—大人もシャボン玉が飛んでいると、シンボパンやクルミドコーヒーの行列が苦でなくなりますね(笑)。

**酒井** なるほど、そうかもしれませんね(笑)。—マガジン「AOZORA Garden」は電子書籍版をネットで観ることができます。でも紙媒体も出していらっしゃる。この世代はネットで充分対応できると思いますが、紙媒体を作ったのはなぜですか?

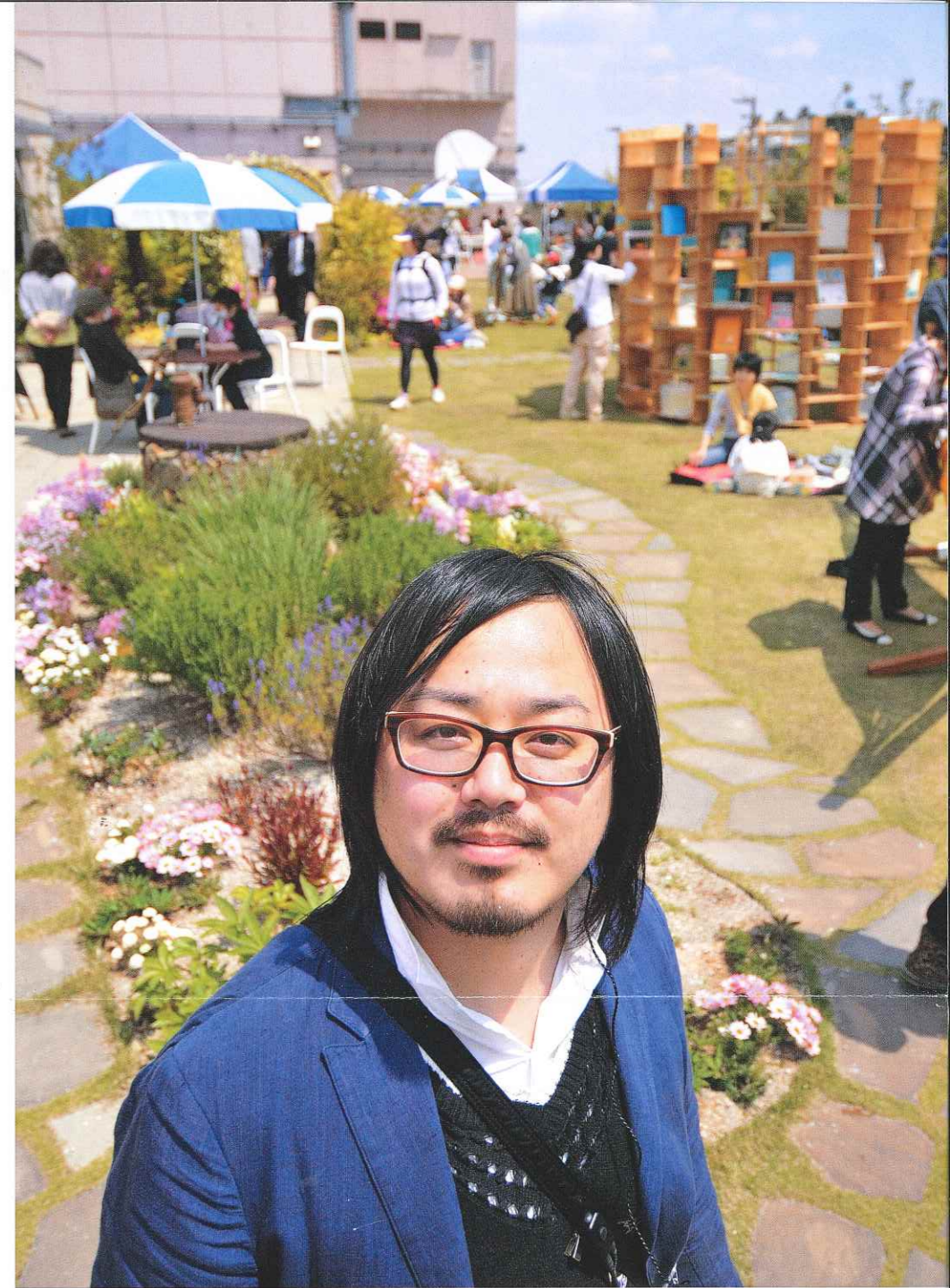
**酒井** インターネットによるインフォメーションは、どんどん流れていってストックされません。また単に一方的に情報を発信するだけでは意味がないと思っています。ルミネ立川店さんが一時的に集客を目指すイベントではなく、みんなにこのエリアを好きになってもらったり、たくさんいい思い出を作ってもらいたい。そのためには、オフライン(体験型)コミュニケーションが重要になると考えており、屋上での非日常体験をどうオンラインと組み合わせていくかというのを考えました。

—マガジンを手に取った人に、はげの朝市に行ってみようかな、シンボパンに行ってみようかなと思ってもらえるといいなと思います。マガジンを通じたコミュニケーションと言いますか、触媒にはなるのではないかと考えています。

—特にシンボパンはこの取り組みのコンセプトにはまっていますね。

**酒井** 立川は、大きな見どころはたくさんあるけれど、小さな見どころが育って行くカルチャーがまだないと感じていて、そんな中で、こういったカルチャーを楽しむ人を増やしていきたいという狙いがあります。若干大きな話になるかもしれませんが、ここ10年くらいで立川が商業地として発展するにつれ、立川で手に入らないものは少なくなっている一方、立川でしか手に入らないものも失われつつあるんじゃないかと思っています。その意味するところは、立川に来てでもデッキを降りない、IKEAに来て、ららぽーとに来て、街を回遊しない。つまり立川に来ていても立川にきていることにならないということなんです。

—僕らは「あおぞらガーデン」の出店者を通して、街の小さな見どころを取り上げ、その魅力を伝えることで街に新たな回遊性を生み出したいと思っています。マガジンもその



仕掛けの1つです。小さな見どころは、単体での発信は難しい。今後、ルミネ立川店さん自身が、これまでにない新しい地域メディアになる可能性があると思うんです。もっともっと多くの人に街の小さな見どころの魅力を知ってもらうためにも、ルミネ立川店さんの持つポテンシャルを活かして、我々は地域と企業をつなぐ役割を担えればと思っています。

ルミネ立川店さん自身も、駅という立地で商売する商業施設として、地域との共存共栄という課題をあらためて考えていかなければならない岐路に立っています。みんな立川を盛り上げる。そうならないと今後立川が「選ばれる街」にはならないのではないかと考えています。

### 酒井博基さん

株式会社 リライト (クリエイティブ ディレクター)  
1977年和歌山県生まれ。2002年武蔵野美術大学大学院修了。国分寺在住。クライアント企業向けに、クリエイターの枠を超え、コンセプト段階から、プロジェクトに関わり、クリエイティブディレクション全般を手掛けるなど、企業や、ブランドのマーケティング価値を最大化することを心がける。一方で、また食育や地域活性化などソーシャルデザインプロジェクトも自身で仕掛けるなど、幅広く活動。2010年「キッズデザイン賞」をはじめ、受賞歴多数。(写真はルミネ立川店屋上「あおぞらガーデン」で)

### 「あおぞらガーデン」今後の予定

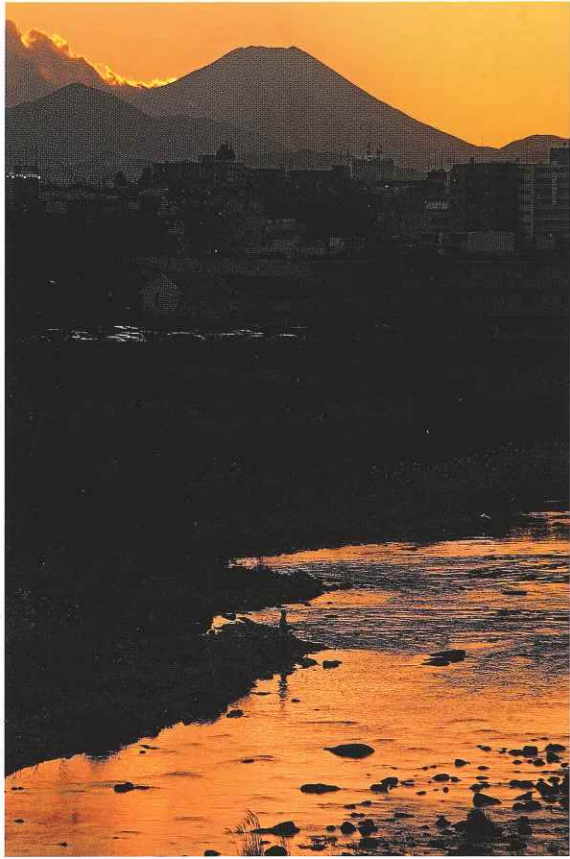
夏 8月3日(土)、4日(日)

屋上で映画上映予定

秋 10月12日(土)、13日(日)、14日(祝)

※インタビューは5月4日(土)、春の「あおぞらガーデン」初日でした。5日(日)にはライブ演奏もあり、お天気にも恵まれて2日間とも目標来場者数千人を超えたそうです。





# 立川に一番近い『世界遺産』…

## 富士山 from 立川

ユネスコの諮問機関・国際記念物遺跡会議(イコモス)が富士山を条件付きで世界文化遺産に登録するよう勧告、6月のユネスコ世界遺産委員会で正式な登録となる予定だ。富士山は立川から見える世界遺産ということになる？

Facebookやtwitterにアップされる富士山の写真は実に多い。富士山が見えると、思わず写真を撮りたくなってしまうのだろう。毎日見ている、今日の富士山はきれいだな~と思うのだから、富士山の力は偉大だ。Facebookにアップされた富士山の写真には、海外からも「いいね!」が押される。富士山の何がそんなに人を惹き付けるのか。

富士山頂には浅間神社が鎮座している。八合目以上は浅間神社が所有する。富士宮市宮町にある富士山本宮浅間大社は全国にある浅間神社の総本宮。450年に渡って「お導開き」という富士山の山開きも行っている。神様が宿る山に人が惹かれるのは当然のことなのだろう。



えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。  
今月は 柴崎町・富士見町 のお店です。

柴崎町

- サイクルハウス 輪輪館.....522-8100
- ESBI 立川南口店.....526-2947
- いなげや 立川南口店.....526-2947
- ひがしミート.....522-6266
- (株) 正盛堂.....522-2328
- いなりすし・のり巻きすし 松月.....523-4758
- 小林歯科クリニック.....527-8217
- ビューティーサロン ウィスタリア.....527-1116
- オリオン書房 サザン店.....525-3111
- ステーキ&ハンバーガーのお店 WISH BONE.....527-7199
- 三船クリニック.....523-6693
- 西武信用金庫 立川南口支店.....529-1311
- たましん 南口支店.....528-2211
- りそな銀行 立川支店.....522-4161
- オリオン書房 アレア店.....521-2211
- ほっとすべーす.....522-2932
- 立川ワシントンホテル.....548-4111
- Coffee Shop LARGO.....525-6704
- パッケージラザ カサイ.....522-8601
- (株) けやき出版.....525-9909
- 手づくり ぎょうざ工房.....522-4770
- みどりっ子 立川店.....521-6688
- 喫茶 ガラリイ花.....524-3668
- 矢沢歯科・眼科.....525-6601
- ラ・フリーズ シュクレ.....525-3513
- (株) 京王ストア 立川店.....540-1131
- 武本測量(株).....524-7731
- 立川市柴崎市民体育館.....523-5770
- NPO 法人 東京 賢治の学校.....523-7112

富士見町

- (株) 浅見酒店.....522-2823
- 伊藤接骨院.....524-7861
- カット・スペース.....523-8619
- café こもれび家.....526-2506
- 手作りケーキの店 プティ・パニエ.....529-8364
- さえき 西立食品館.....529-5333
- (株) ヤマダ電機(法人).....526-1044
- ヤマダ電機.....526-1099
- ダイクマ 立川店.....526-1099
- 西村歯科クリニック.....519-9501
- 井上レディースクリニック.....529-0111
- 中華レストラン 東華園.....529-0458
- 榎本調剤薬局.....526-2322
- 有料老人ホーム サンピナス立川.....527-8866
- 飯塚花店.....522-5684
- 一如社グループ エスパス 21.....527-0370
- うさぎ専門店 ラッキーラビット.....524-6054
- (株) ホーミー.....522-2220
- カフェ・貸しホール ぼくだん畑.....522-2214
- Café Cuisson.....090-6935-1227
- 波多野米店.....522-2884
- 立川市社会福祉協議会.....529-8323
- 桜井電材(株).....523-5281
- 立川市歴史民俗資料館.....525-0860
- 乙黒東洋整骨院.....523-1859
- インテリア アイアイ.....522-5972
- たましん 富士見町支店.....528-1741
- 滝ノ上米店.....522-4019
- 酒 ESPOA おきの.....522-4500
- 建築リフォーム(有) 日防商会.....0120-263821
- (株) 立川印刷所.....524-3268

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー! : 216ch

スカパー!で放送の常楽我浄は  
スマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

マイテレビ : 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

今回は『風しん』です

前回マダニが媒介する感染症についてお伝えしたところ、「そんないいものがあるなら聞いてみたい」というお声がありました。そこでお知らせします。今回はもっと皆さんの関心事『風しん』です。

武蔵村山市にある国立感染症研究所 村山庁舎で社会貢献活動の1つとして行われている市民セミナー。第30回は『風しん急増、全国拡大中〜麻しん風しん混合ワクチンで妊婦さんと胎児を守ろう〜』というテーマで、感染症疫学センター室長の多屋馨子さんがお話をくださいます。

日時 平成25年7月6日(土) 10時~11時15分  
(受付は9時半より)

場所 国立感染症研究所 村山庁舎  
(武蔵村山市学園4丁目7番1号)

申込不要、無料でどなたでも参加できます。

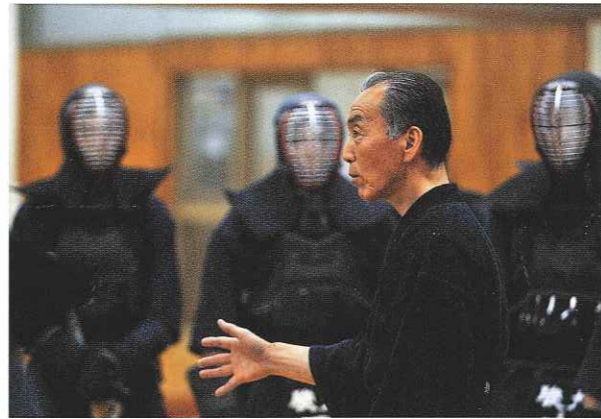
予防接種ってわからないことがたくさんあります。わからないことは専門家に直接聞くのが一番です。



村山庁舎にある動物の慰霊碑

剣道の極意は人生の極意

『月刊 剣道日本』に連載されていた波多野登志夫教士八段(南武堂・立川市柴崎町)の「社会人のための剣道講座」が、この度1冊の本になりました。波多野先生はよく「わずかな差 気づかなければ 天地の差」とおっしゃいますが、この本の中にも人生のヒントがいっぱい。「あなたが必要だ」と会社や周囲から言われるような「社会人のレギュラー」を目指し稽古に励む時には、いつもこの「わずかな差」に気づく心の持ち方が大切だと。技術的なことはもちろん、心の面や稽古への姿勢も盛り込んだ1冊。書き下ろし「八段挑戦始末記」も加わって、剣道の枠を超えた人生書になっています。剣道八段といえば、合格率1%の難関。当時最年少で合格した波多野八段の体験は、きっと剣道を知らない方にも読み応えがあると思います。お求めは、お近くの書店、あるいは剣道日本WEBにてどうぞ。



駿河台大学で 波多野登志夫さん

少年野球のシーズンです

第33回を迎える都下少年野球選手権大会が5月19日、開会式を迎え、さっそくに試合が行われました。初夏から盛夏へ、元気な姿を各グラウンドで見せてくれます。えくてびあんでは、多摩ではこネットとその経過を随時掲載しています。トーナメント表も試合結果を反映して更新中。どうぞ多摩ではこネットをご覧ください。スマホでも対応しています。



立川花火大会にキティちゃん

国営昭和記念公園花火大会実行委員会では、立川花火大会が通算55回目を迎えるのを記念して、50回の時同様、「ハローキティ」立川花火大会限定バージョンの根付け(525円)を発売します。法被の背中に55thと入れた世界的有名人キティちゃん。

一斉発売は7月13日(土) 10時から。

次は「ガッチャマンクラウド」

アニメにやさしい街作りを推進してきた甲斐あって?聖☆おにいさんの次は「ガッチャマン」です。主人公は自分を「僕」と呼ぶ元気で明るい女子高生。ある日ガッチャマンに任命されて…。今までのヒーロー像とは違った新しいヒーローが立川から生まれます。そう、舞台は立川!東京23区が壊滅した時、第2の首都機能をもってその大役を担うのは立川だという設定。7月からテレビ放送される「ガッチャマンクラウド」は、あらゆるシーンに見たことある風景や建物が。立川人は必見です。詳しくはガッチャマンクラウド 公式サイトへ [http://www.ntv.co.jp/GATCHAMAN\\_Crowds/](http://www.ntv.co.jp/GATCHAMAN_Crowds/)



主人公は立川在住の高校生 一ノ瀬はじめ

© タツノコプロ/ガッチャマンクラウド製作委員会

みんなの願いが実って 「みのーれ立川」オープン!

新鮮な農産物を近くで毎日手に入れられたら...と思う方、少なくないですよね。ファーマーズセンターみのーれ立川は、そんな市民との、あるいは市民同士の交流の場でもあり、地産地消の推進もあり、またこうした販路拡大による農業従事者の生産性向上や後継者の育成にもなり、後継者を育成することで農地保全も推進することができるという、みんなの期待や願いが詰まったところ。そして順調に滑り出していけば、ここは観光名所になっていくかもしれません。立川のイメージアップにもつながる「みのーれ立川」。えくてびあんも応援しています。



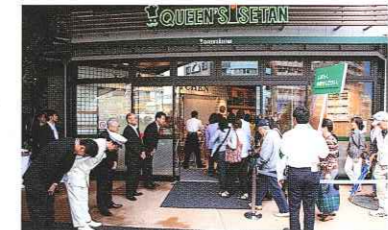
オープニングセレモニー



初日はこんなに並びました

nonowa 武蔵境 オープン

武蔵境駅に西口が開設されて、そこからスツと入れる商業施設『nonowa武蔵境』。武蔵境と言えば立川と同じ、甲武鉄道時代にできた最も古い駅。緑豊かで閑静な住宅地を抱えます。そこにできた商業施設に入ったのはクイーンズ伊勢丹でした。武蔵野商工会議所会頭のご挨拶に、武蔵野といえば吉祥寺と言われてきたが、活性化に向けた自助努力で武蔵境は輝きを増すのではないかと、さらに、「太陽は西から昇る」と言えばそれは立川を意味していたが、今後は武蔵境から昇るのでは、とありました。「ののわ」は、「緑×人×緑 つながる」をコンセプトにした中央ラインモールプロジェクトですが、さて、今後の立川は?



オープン時、お客様を迎える古田支配人兼駅長(白い制服)

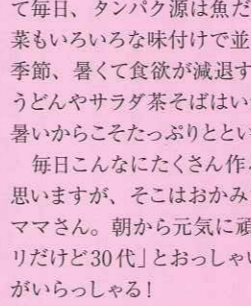
ランチがいい!

おじゃましま〜す! [17]

甘味処 石や



甘味処ですから、甘いものはもちろんおいしい。寒天もあんこも自家製です。クリームあんみつのクリームはソフトクリーム。ソフトクリームだけのご注文もできます。でも、石やさんの良さはそんなもんじゃない。ランチがとってもいいんです。おかげで毎日16~7種類。そこから好きなものを好きなだけチョイスして、ごはんとお味噌汁、お茶に食後のコーヒーがついて1000円。ごはんはおかわり自由です。酢の物、煮物、ゴマ和えは、内容を変えて毎日、タンパク源は魚だったりお肉だったり、野菜もいろいろな味付けで並んでいます。これからの季節、暑くて食欲が減退するという方には、サラダうどんやサラダ茶そばはいかがでしょう。いやいや暑いからこそたっぷりという方には煮豚丼。



毎日こんなにたくさん作るの大変だろうなと思いますが、そこはおかみさんと呼ぶには若過ぎるママさん。朝から元気に頑張っています。「ギリギリだけど30代」とおっしゃいますが、実はお孫さんがいらっしやる!



〒190-0023  
立川市柴崎町2-3-15  
042-524-0862  
営業時間 11:00~19:00  
(L.Oは18:30)  
定休日 土、日、祝日

表紙の人

吉澤驥八郎さん 新さん 咲那さん

柴崎町で理髪店を開業して70年。驥八郎さんのお父さんが「吉澤理髪館」を創業した時、府中警察にまで届けを出しに行ったのだそう。まだそういう時代だったんですね。お三方とも立川1小、1中のご出身。咲那さん、家業を継ぐか迷っているそうです。女性のお客様も多くて、フェイスケアはすごく気持ちいいとえくてびあんも聞いてますよ。

かたこと

◆吉澤さん、うかがってみたい「理髪店三代」でも「1小三代」でも「1中三代」でもOKでした。新しく立川住民になった方も、こうして代々地元に住んでもらって「〇〇三代」となるといいですね。◆当初は「アニメファンを立川に集めてどうする?」というお声もあったそうですが、アニメの舞台になる——これが立川なんだと思ってきました。「ガッチャマンクラウド」のモデルになっている団体や施設、学校は本当に皆さんの近くにあります。公開が楽しみです。どんな風に描かれてるんだろう?◆一方で、ルミネ立川店の屋上から始まる「街とのつながり」。興味深いお話でした。いろいろなものを受け入れて、融和する。それが立川の立川らしいところですね。◆夕方、立ち話をしている脇を柴崎町にある「ひがしミート」のおじさんが。挨拶だけしてまた立ち話。しばらくして、買い物を終えたおじさんがまた通りました。「明日さ、変わったもの作るから夕方方に寄りなよ」と。はいと返事して、さて翌日。夕方には来客ありの原稿ありのですっかり遅くなってしまい、ひがしミートへ足を向けたのは真っ暗になってから。お店は電気が消えているけれど、ドアが開いています。覗くと店の奥、1階の下におじさんが何もしないで座っていました。顔を見ると、笑顔で美味しいものを2つ、冷蔵庫から出してくれました。何時間も待たせてしまったのに、本当にありがとうございます。えくてびあんはこうした皆さまの温かさを忘れずに頑張ります。8月からは新しい連載も始まります。どうぞ皆さま、よろしくお願い申し上げます。

えくてびあん◎

7月号 第31巻 通巻344号

平成25年7月1日発行  
発行 有限会社えくてびあん  
〒190-0023  
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F  
TEL 042-528-0082  
FAX 042-528-0065  
E-mail message@tamatebakonet.jp  
URL www.tamatebakonet.jp  
発行人 黒須環  
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ  
デザイン 池田隆男  
(WATER DESIGN ASSOCIATES)  
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。





# ダグウッドサンド

—— アニメーション『トムとジェリー』

昭和15年に第一作が公開されたアメリカのアニメーション『トムとジェリー』。台詞らしい台詞もなく、いかにもアメリカと思わせるBGMと効果音。猫のトムがバネ式鼠取りに引っかかって叫ぶ声や、モンローウォークする魅力的なメス猫にトムが吹く口笛なども定番だ。

猫と鼠の追いかっけが毎回のテーマ。そんなドタバタ劇を飽きもせずこちらは毎回観て育ち、何度目かの再放送を観て育った娘と、「トムジェリーはいいよね～」と意気投合してしまう。まさに世代を越えた不滅のアニメだ。お人好しのトムと利発なジェリーという設定も魅力の1つだが、何と言ってもアメリカっぽい小道具やシチュエーションに惹かれてしまう。トムの飼い主の家にいる白い

エプロンをかけたお手伝いさん。ジェリーが逃げる時に潜る広い居間の絨毯。トムの恋敵が乗っているロングボディのリムジン。憧れのハンモックは毎回のように出てきた。近所の飼い犬ブルドックがくわえている肉の塊のついた骨、大きなピフテキ、七面鳥の丸焼き、たっぷりのミルク、プルンプルンのゼリー、ごちそうの詰まった大型の冷蔵庫。そして穴のあいた大きなチーズ。このチーズを薄くスライスして青菜やハムと一緒に挟んだサンドイッチは一度食べてみたいものの1つだった。

トムの好物は鼠のジェリーサンドだったが、美味くなさそうなのであまり覚えていない。

えくてびあんスタッフ